

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本記録会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項によって実施する。

※競技用シューズについて、競技規則 TR5.2 は適用しない。

## 2 練習について

- (1) 練習は、指導者引率のもとサブトラック（競技場南の手柄山中央公園）で行う。ただし、フィールド競技の練習は禁止する。フィールド競技の練習は、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で行う。
- (2) 80mH・走高跳・走幅跳の練習場所として主競技場を 8：00～8：45 まで開放する。また、第 2 ゲート付近～第 3 ゲートまでのバックストレート直線も使用可とする。ただし、アップのみとシトラックは順走とする。
- (3) サブトラックと競技場間の移動は、安全を考慮しできるだけ歩道橋を利用すること。
- (4) 練習は、「事故防止」に万全を期すこと。また、荷物などは個人が責任を持ち管理する。
- (5) サブトラック使用上の注意は下記の通りとする。
  - ① レーンが少ないので、ウレタン舗装路のジョグはしない。
  - ② レーンは左回りのみで、逆走はしない。
  - ③ 練習会場への練習道具の持ち込みは禁止する。

## 3 招集について

- (1) 招集所は第 2 ゲート入口付近に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラム記載の競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順について
  - ① 競技者は招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際アスリートビブスとスパイク（ピンの長さは 9mm 以内）の点検を受ける。このときに点呼に応じない、または招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。（ニードルピンの使用は、競技場規定により禁止する。）
  - ② 点呼の代理人は認めない。ただし、2 種目同時に出場する競技者は、1 種目目の招集前にその旨を本人が競技者係に申し出て、事前に 2 種目目の招集を受けなければならない。（2 種目同時届）
  - ③ トラック競技に出場する選手は競技者係で腰ナンバーカードを受け取り、右腰につけて競技に出場すること。競技終了後、800m 未満：シールタイプのもの。各自で処分すること。  
800m 以上：布タイプのもの。ゴール後、回収するので競技役員の指示に従うこと。
  - ④ 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届（招集所備付）を競技者係に提出する。

## 4 競技について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) スタートについては、イングリッシュコマンドで行い、2 回目以降に不正スタートした者（チーム）は失格とする。
- (3) 100m・80mH・4×100mR は、クラウチングスタートを原則とする。ただし、スターティングブロックの使用は認めない。
- (4) 50m は、スタンディングスタートで実施する。
- (5) 女子 800m のスタートは、オープンスタートで行う。
- (6) リレーのオーダー用紙の提出について
  - ① 混合・共通男・共通女リレーとも 12：00～12：45 の間に、庶務係（選手受付係）へ提出すること。
  - ② オーダー用紙：学校受付時に配布する。

- (7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子	練習 1m00	1m00-1m05-1m10-1m15-1m18-1m21-1m24	以降3cmずつ上げる
女子	練習 1m00	1m00-1m05-1m10-1m15-1m18-1m21-1m24	以降3cmずつ上げる

- (8) 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、3回続けて失敗した時点で終了とする。
- (9) 走幅跳、ジャベリックボール投は全員3回の試技とする。
- (10) ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止とする。なお、助走は15m以内とする。

## 5 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) リレーのマーク（養生テープ：50mm×400mm以内で1カ所のみ使用）は主催者で準備する。
- (3) 走高跳のマーカ―は、競技役員から受け取ったテープのみとする。

## 6 その他

- (1) 競技開始後は、競技役員・補助員・選手以外は許可なく競技場内に入ることを禁止する。
- (2) メインスタンドにシートを敷くことを禁止する。（使用座席の表示が隠れるため）
- (3) 競技中に発生した傷害、疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- (4) 結果についてはアナウンスで行う。また、兵庫陸上競技協会HPにて後日結果を掲載する。
- (5) 盗難防止には、各個人又は各チームで十分注意すること。万一盗難にあった場合、主催者はその責任を負わない。拾得物については庶務係（第2ゲート前テント）で保管する。
- (6) ゴミは、必ず各自で持ち帰ること。